

第3次あきた子ども・若者プラン(仮称)について

次世代・女性活躍支援課

プラン策定の趣旨

- 子ども・若者育成支援推進法に基づく県計画として位置づけ
- 国の子ども・若者育成支援推進大綱を勘案
- 第2次プランの成果を生かしつつ、社会情勢の変化も踏まえて策定

プランの性格と推進期間

- 県の基本的な指針
- 対象とする「子ども・若者」は0歳～30歳代
- 推進期間は令和3～6年度
- 令和7年度以降は、「すこやかあきた夢っ子プラン」と統合

プランの推進体制

- 秋田県青少年健全育成審議会や子ども・若者支援ネットワーク会議等の意見を踏まえながら実施
- 県の関係各課室や市町村、民間団体等と連携・協働して各種の施策を推進

目指す社会

子ども・若者を尊重し、すべての世代が支え合いながら共に生きる社会

政策展開にあたっての基本的な視点

1 社会を構成する担い手として子ども・若者を位置づける

2 子ども・若者の置かれている状態に応じて支援する

3 多様な主体による取組とネットワーク化を促進する

基本目標

① 健やかに成長できる環境づくり

② 困難を有する子ども・若者の支援

③ 秋田の未来を切り拓く子ども・若者の支援

子ども・若者の成長に応じた施策を展開

乳幼児期（生まれる前～5歳）

- 施策1 安心して出産できる環境の整備
- 施策2 子育て支援の充実
- 施策3 要保護児童に対する支援
- 施策4 支援を必要とする親へのサポート

結婚・出産

青年期（おおむね18歳～）

- 施策1 職業能力開発・就労等の支援
- 施策2 多様な学びの場の確保
- 施策3 地域の活力を担う若者の支援
- 施策4 出会いと結婚・子育て等への支援
- 施策5 社会的自立に困難を有する若者への支援

学童期（6歳～12歳）

- 施策1 心身の健康づくりの推進
- 施策2 家庭や地域の教育力の向上
- 施策3 安全・安心な環境の確保
- 施策4 要保護児童に対する支援

思春期（13歳～おおむね18歳）

- 施策1 心身の健康づくりの推進
- 施策2 個性と創造力を育む教育の推進
- 施策3 ふるさとへの愛着と国際的視野の養成
- 施策4 社会参加・参画機会の拡大
- 施策5 社会への旅立ちを支援
- 施策6 ひきこもり・障害のある若者の支援

義務教育期（6歳～15歳）

- 施策1 豊かな人間性を育む学校教育の推進
- 施策2 小・中学校の連携の推進
- 施策3 学校・家庭・地域社会の連携の推進
- 施策4 いじめ防止と困難を有する子どもの支援

改訂の視点

① 多様性の理解の促進 ② 社会的養護体制の充実 ③ インターネット健全利用の啓発 など

令和2年度 秋田県青少年健全育成審議会年間スケジュール(案)

	審議会	子ども・若者プラン 策定部会	環境浄化部会	(参考 県議会)
7月	第1回審議会 (7月28日)		第1回部会 (7月28日)	
8月		第1回部会 (8月27日) 第3次プラン 骨子案の審議		
9月				第3次プラン 骨子案を説明
10月				
11月		第2回部会 (同日開催) 第3次プラン案の 審議	第2回部会 (同日開催)	
12月	<div>パブリック コメントの実施 (事務局)</div>			
1月	第2回審議会 第3次プラン案の 審議、答申			
2月				第3次プラン (成案)を説明
3月			第3回部会	

※ 部会は、それぞれの部会委員のみ出席します。